

中学校第二学年 国語 調査票

() 組 () 番 氏名 ()

注意 1 はじめに放送を聞いて書きの問題があります。必要なときは、左の(メモ欄)にメモをしながら聞いてもかまいません。
2 放送で指示があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。

1 (聞き取りの問題)

(メモ欄)

中国-1

2 次の一～三に答えなさい。

一 次の(1)～(3)の―― 総語の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 工具をたなに^{ツグ}固^クめる。
- (2) 新しい^シ製^{セイ}機^キが^レ出^デて^イる。
- (3) 王の^{ミコトノ}命^{ノミコトノ}令^{ノミコトノ}に^{ノミコトノ}聞^クく。

二 次の(1)～(3)の―― 総語のカタカナの部分を^{カタ}漢^{カン}字^ジに書き改めなさい。

- (1) 自動車のコ^コン^ンロ^ロを^コ修^シ理^リする。
- (2) 膝^ハ不^フ足^{ゾク}は^ハ健^{ケン}康^{コウ}を^ハ損^シな^クヨ^ウウ^イン^ンと^ナる。
- (3) 放^ハた^タれ^レた^タ矢^ヤが^レ的^{テキ}の^{テキ}中^{チュウ}心^{シン}を^レ引^ヒく。

三 次の(1)～(2)の文を読んで使われている漢字を(ひらがな)で書き出し、それぞれ正しい漢字に書き改めなさい。

- (1) 理科の^リ致^シの^シ探^{タン}究^クに^シ向^ムけ、^シ近^{チカ}く^シの^シ海^{ウミ}岸^キで^シ終^ハ日^{ニチ}、^シ瓶^{ビン}の^{ビン}満^{マン}ち^ニ引^ヒき^を観^カ察^{サツ}した。
- (2) 深い^{フカイ}森^ノの中^ノを^ノ方位^{ホウイ}指^{サシ}針^シで^ノ方^{カタ}角^{カク}を^ノ確^{タカ}か^めな^がら、^ノ山^{ヤマ}頂^{トウ}を^ノ目^メ指^{サシ}して^ノ前^{マエ}進^{マシ}んだ。

中国-2

3 次の文章を読んで、一〜四に答えなさい。

調査時にはここに問題文が入る

- 一 【飛来種】の と同じ言葉として最も適切なものを次のア〜エから一つ選び、その記号を書きなさい。
- ア うなじく イ むびじく
ウ 懐けなく エ かたぐるじく
- 二 本文中「生かておぼしなし」を直訳するとき、言葉の区切り方をし、最も適切なものを次のア〜エから一つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 生かて / おぼしなし
イ 生かても / おしなし
ウ 生かておぼ / しなし
エ 生かてもおし / だし
- 三 本文中「おぼかだ」を現代かなづかりに直し、すべてひらがなで書きなさい。
- 四 この話のおもしろさとして、ある生徒が次のようにまづめしだ。 と同じ言葉は「無慮」という語を使って十文字以内で書きなさい。

口から歯を食うだらう思つたら無慮は、ある日の大事にしては水脈を断つて殺したのだ、そのことを自分の命で償うために歯を食うたらあることに思つた。この語では、無慮が歯を食うために によって殺されたらある。

中国-3

4 次の文章を読んで、一〜六に答えなさい。

調査時にはここに問題文が入る

中国-4

四 本文中「ほくと岡田はむやみにじらばなし」の中の、「ほくと」と「岡田」との文脈(ぶんま)上の関係について最も適切なものを、次のア～エの中から二つ選んで、その記号を書きなさい。

ア 主・述の関係 イ 修飾・被修飾の関係
ウ 並立の関係 エ 補助の関係

五 本文中「つくりなすういれ」のは、何を網(あ)みわたらぬか。次の文の□に「と」か「は」を、「は」と「と」の二語(にご)を使って、十字以上十五字以内で書きなさい。

律(りつ)が、□といらふと。

六 ある生徒(せいと)が、この物語(ものがたり)中の表現(ひょうげん)の仕方(しかた)について、気付(きづ)いたことをノートにまとめた。まとめた文(ぶん)の□A □Bに適(あ)する言葉(ことば)を書き入れて、ノートを完成(かんせい)させなさい。

私(わたし)がこの物語(ものがたり)中の表現(ひょうげん)の仕方(しかた)で気付(きづ)いたことは、「ほくと」や「つくりなすういれ」、「むらさき」などの擬音(ぎおん)がたたくと使(つか)われていることです。三つの中で、例(れい)えば、□A という表現(ひょうげん)には、□B という効果(こうか)があると思いました。

一 本文中「けだ」とありますが、この言葉(ことば)の意味(いみ)として最も適切なものを、次のア～エの中から二つ選んで、その記号(きごう)を書きなさい。

- ア 気(き)まよくなつた
- イ 動(動)かかになつた
- ウ 滑(滑)ふたになつた
- エ やましくなつた

二 本文中「う」二年(にねん)でくんと同(おな)じなつた風(かぜ)の体調(ていじょう)だくましくなつた(因(よ)り)の、二文(にぶん)とも取(と)りかへたこと(事(こと)実(じつ)の工(こう)夫(ふう)どつら)で最も適切なものを、次のア～エの中から二つ選んで、その記号(きごう)を書きなさい。

- ア 直(直)接(接)
- イ 間(間)接(接)
- ウ 体(体)言(言)上の
- エ 擬(擬)人(人)法(法)

三 本文中「みやうりの水(みづ)」など思(おも)つたものは何(なに)でしたか。本文中(ほんぶん)から三(さん)文字(じ)以上(じょう)五(ご)文字(じ)以内(い)で書きなさい。

中国-5

中国-6

5 次の文章を読んだり、大きく書きなさい。

調査時にはここに問題文が入る

中国ー7

Ⅰ 本文中「^a使われた」について、この言葉の語彙を「文脈」で抜き出しなさい。

Ⅱ 本文中「^bさうしきは、不必要になれば置んで小さくする」とある。古びたバッグの再利用は難しいが、さうしきは縫製あっても場所をいらならし「のれんや敷物やぞうきんに使わうとある。」と同じ図柄の文章を、次のア～エの中から1つ題文の語彙で書きなさい。

ア 再利用が難しいさうしきに対して、古びたバッグは不必要になれば置んで小さくできるため、縫製あっても場所をとらず、のれんや敷物やぞうきんに使わうとある。

イ 古びたバッグの再利用は難しいが、不必要になれば置んで小さくできるさうしきは、縫製あっても場所をとらず、のれんや敷物やぞうきんに使わうとある。

ウ のれんや敷物やぞうきんに取えるさうしきは、再利用が難しい古びたバッグに対して、縫製あっても場所をとらない上に不必要になれば置んで小さくする「とある」。

エ 縫製あっても場所をとらず不必要になれば置んで小さくする「とあるさうしきは、古びたバッグと同じように、のれんや敷物やぞうきんにして再利用である。

中国ー8

- 三 本文中「**頼もしい**」の使い方で最も適切なものを、次のア～エの中から**一つ**選んで記号を書きなさい。
- ア 学級の友達全員で掃除を**頼もしく**行う。
 - イ 素敵な歌が人々の記憶に**頼もしく**残っている。
 - ウ 体調が戻ってきたので**頼もしく**食事を楽しもうと考えている。
 - エ 将来の夢に向かって**頼もしく**学習する。

四 次の一文は、本文中の〔A〕から〔D〕のどこに入れるのが最も適切ですか。 **一つ**選り記号を書きなさい。

そして使わないうちは、**思**んでしまえるから、**頼**もれないように固いなる**箱**（洋服ダンス）に**掛**けてお**必**ずはない。

- 五 本文の述べ方について説明した文として最も適切なものを、次のア～エの中から**一つ**選んで記号を書きなさい。
- ア いくつか**区**別表示し、それぞれに**答**えるような構図で述べている。
 - イ 客観的な事実を述べるながらも、職人のこだわりや工夫も織り交ぜることを**意識**できているようにしている。
 - ウ ぶつくりの出組が最後まで詳しく説明することで、作製過程の困難さを**強調**している。
 - エ 例から分かる事実をもとに考え方や文化へと**連**なっている。

六 本文中「**おもな理由ですが**」について次のように話し合いました。次の話し合いの中の〔 〕に当てはまる言葉を、本文の中から**四十文字以上五十文字以内**で抜き出して書きなさい。

多くの問職る「**ご**まらないものじやが」と言つて、幾重にも包まれたお菓子**を**渡していたなあ。どうしてだろう。



「**工**場は**包**んで渡す行為については、**と**説明してらね。



なるほど。だから雑音は「**つ**つみ（**真**み、**謙**）こそ、大切な心が入つてゐる」と説明してゐるんだ。



6 木村さんは、総合的な学習の時間に「地球温暖化」について調べたところ、日本や排出される温室効果ガスのほとんどが「**二酸化炭素**」であり、家庭から排出される「**二酸化炭素**」の約七割が電気とガスからであることが分かりました。そこで、資料1～3を基に、「**二酸化炭素**」を削減する身近な取組についてまとめることにしました。

集めた資料を基に、木村さんになつたつもりで、「**二酸化炭素**」を削減するために私ができる取組」の本文 a の内容を【**条件**】にしたがって書きなさい。

調査時にはここに資料が入る

【**二酸化炭素**を削減するために私ができる取組】

資料〔 〕から

a

このように、普段の生活を直すことで、「**二酸化炭素**」の排出量を削減することができると思っています。

- 【**条件**】
- 1 「**取組**」は、「資料〔 〕から」の〔 〕に資料の番号を入れ、選んだ資料から分かることを簡潔に書くこと。
 - 2 「**取組**」は、1「**取組**」で述べた内容を根拠に、「**二酸化炭素**」を削減するために私ができる取組」を、最後のまよめにつなげるように、具体的に書くこと。
 - 3 **百二十文字以上五十文字以内**で書くこと。